

家畜衛生便り

No.318 平成28年12月22日

徳島県家畜防疫衛生センター
西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
徳島県吉野川市鴨島町麻植塚
TEL. 0883-24-2029 FAX. 0883-24-1397

西部家畜保健衛生所 東みよし庁舎
三好郡東みよし町中庄
TEL. 0883-82-2397 FAX. 0883-82-4843

宮崎県の肉用鶏農場において高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜の確認！

1 発生農場の概要

所在地：宮崎県児湯郡川南町
飼養状況：肉用鶏 約12万羽

2 経緯

- (1)12月19日、宮崎県は、死亡肉用鶏が増加した旨の通報を受け、当該農場に対し移動自粛を要請するとともに、農場に立入検査を実施。
- (2)当該肉用鶏についてインフルエンザ簡易検査を実施し、陽性を確認。
- (3)遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)の疑似患畜と判明したため、飼養家きんの殺処分、消毒、周辺農場における法的な移動制限等、防疫措置を開始。
- (4)発生農場から一部(1,900羽)食鳥処理場への出荷が確認され、該当鶏について殺処分を実施するとともに、食鳥処理場周辺に移動制限区域を設定。

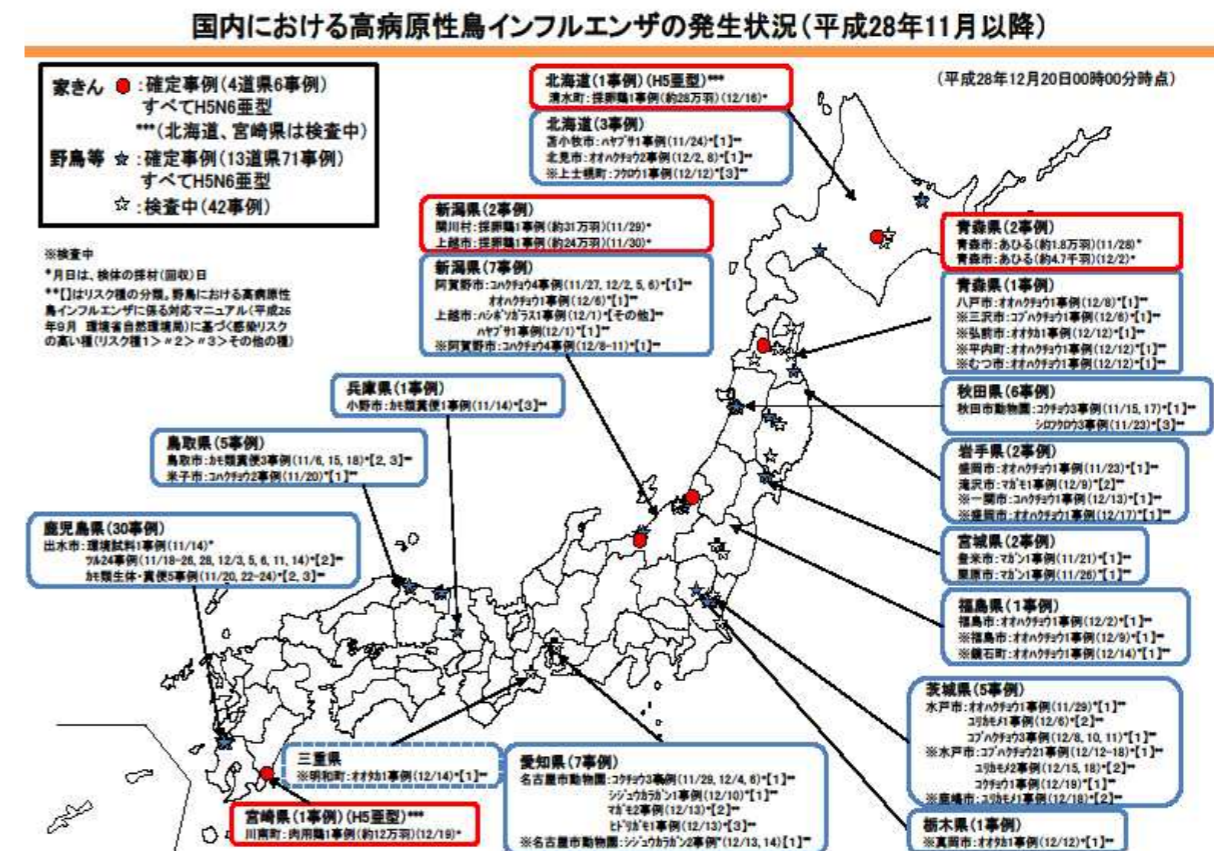
3 移動制限、搬出制限区域内の農場数及び飼養羽数

- 発生農場を中心とする区域
 - 移動制限区域(3km以内) 27農場 約96万羽
 - 搬出制限区域(3~10km以内) 114農場 約463万羽
- 食鳥処理場を中心とする区域
 - 移動制限区域(1km以内) 2農場 約4万2千羽

<国内家きん農場における発生状況>

青森県		
青森市	あひる農場	約1万8千羽
青森市	あひる農場	約4千8百羽
新潟県		
関川村	採卵鶏農場	約31万羽
上越市	採卵鶏農場	約23万羽
北海道		
清水町	採卵鶏農場	約21万羽
宮崎県		
川南町	肉用鶏農場	約12万羽

国内全ての地域で、高病原性鳥インフルエンザ発生リスクが非常に高まっています！



本病の発生・まん延防止に万全を期すため、以下の事項を確実に実施してください。

1. 野鳥や小動物の鶏舎等への侵入防止対策の徹底

防鳥ネットや鶏舎を定期的に点検
破損部分を見つけたら速やかに修繕

2. 農場出入り口・周辺での消毒（消石灰等）の徹底

消毒は防疫対策の基本！必ず、確実に実施！

3. 異常家きんの早期発見，早期通報

鶏の日常の健康観察を徹底し，死亡率の急増等，
鳥インフルエンザを疑う状況があれば，**直ちに通報！**

<連絡先>

西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎 0883-24-2029
東みよし庁舎 0883-82-2397

家畜保健衛生所は，休日・夜間も24時間対応しています。

4. 他の家きん飼養農場へ，不要不急の出入りをしない

何時どこで発生してもおかしくありません。
知らないうちにウイルスをまん延させる危険性があります。

これから年末年始を迎え，人，物の往来が慌ただしく
なりますので，なお一層の衛生対策の徹底に務めて下さい。

関係者全員が一致協力し，高病原性鳥インフルエンザの発生防止に努めましょう！

表. 高病原性鳥インフルエンザに係るリスク種の県内渡来状況(平成28年10月)

	科名	種名	季節分類	平成28年10月				
				出島	吉野川河口	大麻山	眉山	海老ヶ池
リスク種1	カモ科	シジウカラガン	冬					
		マガン	冬					
		ヒシクイ	冬					
		コブハクチョウ	?					
		オオハクチョウ	冬					
		コハクチョウ	冬					
		オシドリ	冬					○
		キンクロハジロ	冬					○
	タカ科	オジロワシ	冬					
		オオワシ	冬					
		オオタカ	冬	○				
		ハイタカ	冬					
		ノスリ	冬					○
		サシバ	夏					
クマタカ		留						
ハヤブサ科	ハヤブサ	留						
	チョウゲンボウ	冬	○	○				
リスク種2	カイツブリ科	カイツブリ	留	○				○
		ハジロカイツブリ	冬					
		カンムリカイツブリ	冬					
	カモ科	マガモ	冬	○	○	○		○
		オナガガモ	冬		○			
		ホシハジロ	冬	○				
		スズガモ	冬		○			
	ツル科	タンチョウ	冬					
		ナベヅル	冬					
		マナヅル	冬					
	クイナ科	バン	留	○				
		オオバン	冬	○				○
	カモメ科	ユリカモメ	冬					
	フクロウ科	ワシミズク	冬					
コノハズク		夏						
フクロウ		留						